

普通型コンバインによるエゴマの収穫法

福島県農業試験場種芸部

平成15年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

普通畑作物－その他－作業機械、作業技術
分類コード 02－99－28290000

2 担当者

棚橋 紺・青田 聡

3 要旨

普通型コンバインのエゴマ収穫に対する適応性を検討した結果、エゴマはコンバインによる収穫が可能であることが分かった。

- (1) 機械は大豆・そば・麦用普通型コンバイン(CS21D)を供試した。グレーンシーブ等をそば専用仕様とし、こぎ胴送塵弁開度9(11段階)、チャフシーブ角度2(4段階)、唐箕風量最小とした。
- (2) 草丈120cmのエゴマを地際から収穫した場合の穀粒損失は、作業速度0.28m/sで13.2%であった。収穫物のきょう雑物混入は29.4%であった。
- (3) 草丈170cmのエゴマを高刈りした場合の穀粒損失は、作業速度0.50m/sで13.9%であった。収穫物のきょう雑物混入は43.9%であった。
- (4) 穀粒口でのきょう雑物は、細断された茎及び雑草の種子であり、収穫後、ふるい、唐箕で除去できるものであった。また、脱ぶ粒が発生し、その割合は、5.4～7.0%であった。

4 その他の資料等

なし